

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 2021年12月20日(月)	
参 加 者 (意見照会)	議 題
利用者 0名	① 行事報告
利用者家族 1名	② 行事予定
地域住民の代表者 0名	③ 意見照会
市職員 1名	④ 身体拘束適正化検討委員会
地域包括支援センター職員 1名	⑤ その他
事業所 0名	
会 議 録	
<p>2021年12月20日に行う予定でしたが、コロナウイルス感染拡大防止により開催を中止しました。今回開催分も意見照会にて行いますのでご協力をお願い致します。</p> <p>① 行事報告 1号館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月10日 おやつ時に、誕生日会を行いました。誕生日の歌を唄って、お祝いをさせていただきました。誕生日の利用者様も、笑顔が多くお過ごしになりました。</li> </ul> <p>1号館・2号館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月10日 施設でおでんを作りました。作ったおでんを、昼食時にお召し上がりいただきました。温かいおでんに、舌鼓を打たれながら皆さん、好きなおでんをお召し上がりいただきました。</li> </ul> <p>② 行事予定 1号館・2号館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>12月24日 クリスマス会</li> <li>12月31日 年越しそば</li> <li>1月1日 おせち料理</li> <li>1月未定 誕生日会</li> </ul> <p>③ 意見照会 ★ご家族様</p> <p>いつもお世話になりありがとうございます。 面会に行くと職員さんがいつも笑顔で迎えて下さり、母の笑顔も見る事が出来てホッとします。これからもよろしく願いします。</p> <p>ご意見ありがとうございます。認知症の方は、生活する環境も大切だと言われています。利用者様が過ごしやすい環境作りや、また、職員も毎日笑顔を絶やさぬようにケアに取り組み、励んでいきます。こちらこそ、これからも宜しくお願い致します。</p>	

★市職員様

今回のテーマは、「かきむしり、弄便、不潔行為について」ですが、職員からは、どのような意見等が出ましたか。

ご意見ありがとうございます。職員からの意見として、「かきむしり、弄便、不潔行為について」以外の、BPSDに対しても、問題が起きてから対応するのではなく、利用者様の性格を把握した上で、さまざまな表情の変化にも注意して、初期対応を心掛けると言う意見が出ました。BPSDをゼロにする事は、難しいです。介助方法や、対応の仕方を職員間で統一して、常に同じ対応が出来るように、チームケアで取り組んで行く事が大切だと、改めて再認識しました。

★地域包括様

お世話になっております。

コロナの感染予防の対策を取りながらの毎日のご支援、年末年始の行事の開催等、いつもありがとうございます。

今後共、ご利用者様の安心、安全な生活が継続できるようご支援をお願い致します。

ご意見ありがとうございます。以前から、町屋では感染予防対策を各職員に徹底するように指導及び実践しています。また、外出しにくくなる事が続いています。外出が少なくなってきましたので、利用者様もストレスを抱えているかも知れません。そのような、日常の中で少しでも気分転換になればと思い、川沿いの散歩や、楽しんで頂けそうな行事の計画をしています。

④ 身体拘束適正化検討委員会

「かきむしり、弄便、不潔行為について」

かきむしり、おむつはずし、弄便行為などがあり、対応としてつなぎ服、ミトン手袋、ベッド柵に手をひもで縛るなどをする行為は身体拘束になります。

弄便行為は、認知症の中核症状のBPSDにあります。

では、なぜこのような行為があるのか、また施設での対応をご説明させていただきます。

まずは、かきむしりは、皮膚トラブルにより起こる事が多くあります。原因として、乾燥などでかゆみが起きて、かきむってしまう事があります。最初に大切なのは、入浴時や更衣時などに、日頃から皮膚の状態を良く観察する事です。

そこで、乾燥やかき傷があれば、定期的に保湿剤やステロイド剤を塗布しています。肌の敏感な方には、ボディークリームではなく、無添加の固形石鹸を使用して、肌への刺激を少なくしています。また、かいてしまった時に深い傷にならないように、爪の長さにも注意が必要です。

オムツ外しは、オムツ内が濡れたりしている事が続くと、不快感やかゆみが原因で起こるのではないかと思います。

弄便行為は、オムツ内などに便があり、不快感やかゆみなどの原因があります。その他に、オムツ内に異物があると思ってしまう、取り除こうとして起こる事があります。また、便で汚れた手で壁や布団などを触ってしまう事は、汚

れた手をきれいにしようとして起こるのではないかとされています。

対応としましては、利用者様の排便周期を知り、パット交換の時間を調整する。パットを吸収性がある良いものだと、排尿後の冷たさや濡れている不快感が軽減されます。また、オムツも肌触りや通気性の良いものなどにするなどがあります。

以上の対応をする事により、身体拘束を行わず、かきむしり、オムツ外し、弄便行為が減らす事が出来るのではないかと考えています。

⑤ その他

10月、11月に愛知県の実務により、職員対象のPCR検査を行いました。全員陰性でしたのでご報告をさせていただきます。